

[翻刻] 曇華院藏『曇華集』

横山 恵理

情報科学部 情報システム学科

(2016年5月31日受理)

Transcription of “Donke-syu” [Record of Donkein]

By

Eri YOKOYAMA

Department of Information Systems

Abstract

“Donke-syu”[Record of DonKein] is written by Taisei Seian. Taisei Seian was born Princess Tachi no Miya, daughter of Emperor Gosai and Rokujo no Tsubone(d. 1680). Not much is known about the literary activities in the Japanese Imperial Convents. “Donke-syu”[Record or Donkein] may help to explain the literary activities in the Japanese Imperial Convents.

キーワード ; 尼門跡, 曇華院, 『曇華集』, 大成聖安, 漢詩

Keyword ; Japanese Imperial Convents, Donkein., Donke-syu, Taisei-Seian, a Chinese poem

〔翻刻〕曇華院蔵『曇華集』

情報科学部 情報システム学科 横山恵理

(二〇一六年五月三十一日受理)

ここに翻刻する資料は、曇華院⁽¹⁾蔵『曇華集』である。曇華院門跡第二十四世・大成聖安による作品を、侍者である慈全、宗専が編集したものであり、詩編一九五首および書簡二点が収められている。

大成聖安は、父である後西天皇による厚い支援を受け、焼失により衰退した曇華院を延宝年中(一六七三〜一六八二)に中興した人物である⁽²⁾。

尼門跡における文芸活動のうち、尼僧自身が漢詩を作成した例はほとんど紹介されておらず、『曇華集』は近世期尼門跡の文芸活動の一端を窺い知ることができる資料として位置づけられる。

原本との照合はこれから行うが、学会における該当資料の有益性を考慮して翻刻を公開することにする。本稿では内容の紹介に留め、本文についての検討は別稿に譲ることとする。

凡例

*底本は東京大学史料編纂所蔵謄写本⁽³⁾を用いる。

*用字は原則として通行字体による。

*通し番号を振り、詩は句点を残して記した。

*補入の場合、補入された字を()内に記した。

【翻刻】

中興通玄大成和尚曇華集

侍者 慈全 宗専 編集

1 丙子元日

粧点風光気正新、料知世上待花人、吟鶯自得陽和力、一夜挽回千里春、

2 春雪

東風吹雪撲窓声、樹樹花開喜早鶯、飛入園林梅潤色、自然似慰我閑情、

3 桃

綻風和暖数株桃、況又嫩紅慰我浴曹、終日花顔相照所、一堆錦繡短牆高、

4 对桜花

爛漫花開緑樹中、幾看桜雪御東風、双飛胡蝶何人夢、吾亦春情與汝同、

5 書懷 用前韻

細雨濛濛煙霧中、殘花含淚恨山風、春光添感函窓下、不識此心誰又同、

6 和寂一

温温遲日麗春光、坐弄芳英樹下床、紙上珠璣詩就後、墨痕乾処筆花香、

7 牡丹

新晴春日牡丹開、承露光清擎玉盃、仮使濃粧有遲就、天香又是百花魁

- 8 又
天香国色古来今、新開花顏賞愛深、一笑含嬌無解語、千般費思惱吟心、
- 9 杜鵑
夢覺孤床靜、杜鵑帶雨飛、一声来近枕、何者不沾衣、
- 10 又
叫来深夜一声鵑、和月驚回孤枕眠、故国天遥歸不得、年年淚血最堪憐
- 11 夏夜
輕風度樹邊、微韻遠鐘、伝鵑叫埋雲樹、鴉驚向曙天、殘燈孤榻下、落月半
簾前、閑憶世間事、片心百感牽、
- 12 蚩
晚涼臨水弄流螢、点点乘風乱小庭、的歷群飛何處去、為誰今夜照書檯、
- 13 蟬
新蟬初聽柳陰中、蕭瑟清音曲未終、葉底藏形朝飲露、又乘晚景咽薰風、
- 14 蓮
照水芙蓉玉露光、含嬌濃艷映斜陽、楊妃麗質出新浴、西子芳姿凝靜粧、池
畔風香好忘暑、兩余尽翠自生涼、靜思花命何為薄、落早更令吟意傷、
- 15 苦熱
飛火早雲一夏天、薰風不到地生煙、逼人炎氣醉如酒、薄暮追涼北牖眠、
- 16 新秋
爽氣收殘暑、報秋一葉飛、捲簾孤牖坐、忽覺冷侵衣、
- 17 七夕
氣爽風高月半輪、銀河一帶見來新、莫嫌牛女稀相會、天上无無難報晨、
- 18 秋夜
夜雨垂簾靜、後園莎底蛩、燈前無限思、被隔一声鐘、
- 19 又
秋夜增涼氣、荒園草露清、金風雲万里、銀漢月三更、移箔樹林影、近床蟋
蟀声、為誰砧杵急、枕上夢難成、
- 20 芭蕉
新展鳴鳳尾蕉、雨余露滴葉蕭蕭、翠旗遮日書窓下、無語無情伴寂寥、
- 21 十四夜
金風玉露晚涼生、二七秋光分外清、来夕陰晴難料識、今宵先賞待天明、
- 22 中秋
三五没雲煙、碧宵秋影凶、夜深思千万、遂不得成眠、
- 23 又
銀漢無声流碧天、雲端碾破玉輪圓、夜深惆悵影斜掛、三五佳期又一年、
- 24 中秋月下遥思
輪王大王奉寄、曾聞 大王為月架高楼于忍岡之勝地、
- 25 中秋对月懷友
近聽高楼架彩椽、今宵遥識啓吟筵、月前相思弥堪羨、千里不妨共一天、
- 26 重九
秋光一半夜将闌、雲散晴空轉玉盤、此夕題詩是何處、娟娟月色與誰看、
- 27 夜雨有感
今日清遊处处同、興来空坐小園中、未開黃菊負佳節、双鳥尋花舞素風、
- 28 雁
淋漓連夕雨、声冷洗清秋、認旧年年事、如雲夜夜浮、重衾沾積淚、好夢惹
新愁、蟲韻添惆悵、空窓燈影幽、

秋爽雲程万里余、哀声雁切夜窓虚、影横斜月碧天遠、解帶寒来未帶書、
数声哀叫翼凌雲、万里西風影相分、月下南飛去何処、遥思湘水共成群、

29 白菊

愛花秋蝶繞東籬、玉葉経風輕折時、天至月明難辨色、枝頭清艷雪霜姿、

30 楓

半出青松雨(両)岸楓、一張錦繡乍翻風、東西片片岩溪畔、添色斜陽映水
中、

錦綉飄飄林岳中、秋高霜染滿枝紅、怨詩流出漢宮外、無語無情水上楓、

31 初冬

風冽不成夢、無書雁寄啼、万般多感慨、一枕易悲凄、茅屋霜初下、梅梢月
漸低、待明爐火冷、冷坐聽隣鷄、

32 冬

近竹風高枕、寒声滿小軒、孤山雲淡薄、爾屋月黄昏、長嘯撩詩思、函吟覺
睡魂、霜林搖落尽、蕭索鳥群喧、

33 和

霜染深林楓錦翻、寒風冽冽惱神魂、新題一葉慙勸賞、只照眼中不解言、

34 夜坐

霜嚴深夜冷衣裾、風簌孤竹又颺書、数尽鐘声依壁坐、月光滿地接吾廬、
35 冬晝有感

軒下寒風冽、早梅暗送香、閑窓殘月影、深夜滿天霜、枕倦醒添淚、鐘晴響
覺長、青燈光欲尽、万慮使吾傷

36 雪

飢鳥噪簷去復還、雪粧竹尾玉如剛、看来天地凡塵絶、草木悲凄万境閒、

霜重天寒被結冰、殘更挑尽寂寥燈、風搖窓竹獨眠覺、斜月入軒歛得朋、
37 暮冬

窓外一枝梅、破香雪裡開、俄驚殘曆少、花卜早春来、
38 春日書懷 丁丑

和風消雪報春鶯、求友飛鳴一兩声、睡起閑窓殘照下、如何說得始終情、
遲日破顏籬外梅、金衣眺院逐香来、倚欄無語思千万、袖得春風懷未開、

綠淺塔前草、隔簾日影闌、温風猶起思、殘雪又慵看、新栖帶新雨、曉梅○
(和) 晝寒、寂然無限意、袖手倚欄干、

39 歸雁

歸雁東風行乱群、声哀疎雨不堪聞、悠悠啄去幾春草、千里霰漢遠入雲、
40 春夜書懷

春夜寥寥一小楼、催花曉雨却生愁、胸中万慮憑誰訴、無睡燈前照深幽、
41 春夜對月 有暈

春天謁氣裹長空、獨倚欄干薄暮風、月暈遙懷同千里、無窮一興一吟中、
42 紅梅

夕陽微放翠林中、枝北南照眼紅、天與清香奇又妙、額粧点出笑春風、
43 見櫻花有感

春色映濃綠、吐芳傍近楼、孤鶯吟樹底、又蝶舞枝頭、処処山風恨、家家夜
雨愁、呆然感時淚、淚滴不能收、

44 春夜有感

滿園佳月光、花影上高牆、慰懶香煙細、牽愁春夜長孤床思累累、一枕淚滂
滂、燈下曾無寢、深情欲断腸、

45 宮中見花

- 洞裏樓臺引步遲、清蓮洗穀滿瑤池、夜來明月映花影、一刻千金是此時、
- 46 醉友人看花有感作
幾朵含嬌鳥雀嬉、題詩酌酒賞花時、傍人莫怪滂滂淚、頗感春風相與知、
- 47 春尺
鬱鬱重雲雨後天、青春歸去思淒然、微風不動垂簾靜、一炷煙中萬慮牽、
- 48 聞鵲書懷
寂寥雨後亂雲橫、深夜杜鵑殘夢驚、巴峽牽愁千萬緒、蜀天結恨雨（兩力）
三聲、柳含濃露鞞窓重、草戰輕風遶磴清、幾許幽情何處避、床頭靜坐曉鐘
鳴、
- 49 夜雨聞鵲
蕭蕭雨滴未曾晴、蜀魄哀鳴寄數聲、旧事夢驚千萬恨、愁眉難展夜三更、
- 50 舟中偶作
扁舟一葉漂清流、無限山林得坐遊、渺渺平堤帶芳草、群牛歸處晚村幽、
蒼浪連天碧、暮煙山更幽、風光佳絕處、螢火送歸舟、
- 51 端午
相嬉端午日、菖酒醉吟時、思旧歡情少、年光彈指移、
- 52 夏日偶成
帶煙芳草蔽函遙、疎雨濛濛日已斜、池上風情無點暑、悠然坐聽鳴蛙、
松林風度發鳴琴、又乱万條楊柳陰、避暑池頭双鷺下、迎涼雨後一蟬吟、高
天添恨暮雲合、曠苑結愁芳草深、思旧感今千種事、支頤無語淚沾襟、
- 53 蓮
明月光分映白蓮、薰風香散露華鮮、淤泥不染園池裡、真是清涼一味禪、
- 54 夏夜偶作
荷背滿池翠、蓮腮映水紅、晚林煙淡淡、涼草露穠穠、疑是樓前月、得秋扇
底風、孤窓千里夢、半記半成空、
- 55 七夕
金風送暑過南樓、耿耿星河顛氣浮、鳥鵲成橋才一夕、兩情料識古今愁、
- 56 秋夜
西風捲地嫩涼生、月出閑雲万里情、蛩韻感秋深壁下、砧声傍枕四三更、
凄冷清風足、草蟲向誰說、沈沈人靜夜、咬咬月明時、宋玉揮毫怨、安仁對
鏡思、孤床攢万感、此意乱如糸、
- 57 中秋
三五一輪滿、嬋娟處處同、木犀含玉露、金兒上簾櫳、此夕情無限、彼蒼望
不窮、清光閑（開）卷見、誤登小樓中、
- 58 中秋遙思
三五嬋娟文外清、淒風長嘯至天明、閑窓照恨月華影、兩處共看今夜情、
59 重遊山科毘沙門堂
佳境一望景更幽、群峯疊疊夕陽收、溪雲溪水牽吟興、閑坐松風思旧遊、
- 60 新雁
西風新雁字行行、嘹唳悲声令我傷、来往春秋南與北、故卿難料又何方、
- 61 秋日書懷
西風籬下菊、含露晚香加、臥聽深秋雁、坐看薄暮鴉、雨声來枕角、冷氣逼
窓紗、旅客斬時意、料知乱似床（麻力）
- 62 遊高台寺見楓
山下禪堂不厭望、林鳩飛散遶長廊、枝枝霜染無窮景、只恐紅粧風匹防、
- 63 初冬

凜冽幽窓坐、宿鴉搏小園、疎桐翻井畔、殘菊傍籬根、天淡星千点、風高月一痕、对燈冬夜永、香炮又将焚、

64 凝花洞懷古

群雀寒鴉欲得誰、柳條露與淚双垂、荒台風度行人絕、尾上殘陽只旧時、

65 夢旧遊

深夜閑窓月一輪、相逢疑語慰精神、朝來感嘆前宵夢、夢裏難忘夢裡人、

66 雪

滿天風陣雪漫漫、縮手袖間慵賞看、回憶此貶樵子苦、採薪松遥草衣寒、長空渺漠雪如砂、松失旧青迷宿鴉、閉戶擁炉衫袖冷、冷風剪剪犯窓紗、

67 冬曉

隣鷄呼曉暗窓靜、庭竹含霜風声冷、寒榻展書幽思長、的的青燈移孤影、夢回寒雁唳、軀枕軀悲傷、銷尽炉中大(火)添来屋上霜、竹君持勅節、木母爨微香、斜影破窓月、冷然刻漏長、

68 除夜

除夜曉光催、天晴絶点埃、殘冬從此尽、新歲逐貶来、淡雪難埋竹、和風欲至梅、燈凝無限思、疊疊向誰開、

69 戊寅元旦

斗位回天已建寅、陽和忽轉万家春、東風筆下吟情動、吹断浮漸硯海新、

70 早春書懷

東風水未解、慘慘一庭寒、柳色烟偏重、梅梢雪半殘、新情吟月懶、旧思得春嘆、燈影空移枕、夢回更已闌、

71 船中作

晴天遲日已鮮妍、短棹逐流春水船、山色水光籠煙幾、幾多詩興不遑眠、

72 興雲庵見垂糸海棠

煙林深处轉黃鸝、脉脉海棠千縷糸、終日倚欄看不足、猶懷月色映花枝、

73 春雨有感

二月東風万恨生、濛濛細雨濺清英、清英已帶傷卷淚、不語似憐吾感情、

74 春日作

櫻花尽矣雜松間、駱蕩春情午院閒、幾許幽情何日了、東風和淚更斑斑、

75 句句戲用花字

春風花下払晴煙、終日伴花思悄然、況是黄昏花與月、于花于月旧愁牽、

76 過坂本志賀院途中

湖面朦朧收夕陽、橫峯倒嶺泛滄浪、夜来幾点漁舟火、靜見浮沈意轉傷、

77 和詠懷

艷艷春光柳滿門、東風睡覺意難論、不知化蝶斜飛去、何處芳園遊夢魂、

78 聞鵲有感

杜鵑啼血一声声、故国錦城長路程、月夕風晨歸去恨、年年多少惹愁情、簾櫳靜竹院、鵲呼小苑東、声声喧耳裡、物物感胸中、高枕今宵雨、扞床半夜風、旧愁頻易促、欲忘恨無窮、

79 蛩

捲簾靜坐綺窓前、風引群蛩流暮天、点点增輝深草裡、更疑星斗落籬邊、

80 夏日偶作

迎夏熟梅子、沈沈林樾涼、蓮池生嫩葉、竹雨弄清香、亭靜薰風至、軒幽好日長、凄然無外事、欲睡讀書牀、

81 蓮

芙蓉萼異艷粧紅、涼送幽香陣陣風、憐惜清姿花命薄、無端見落一吟中、

82 夏夜書懷

涼天浩浩渾無暑，淡帶微雲河漢橫、螢亂蓮池明見影、蛙群桐井暗聞聲、風驚枕上三更夢、月映床頭万里情、院靜一爐燒沈水、淒清意思共煙輕、滂滂雨後竹林露、扠扠窓前楊柳風、昏睡醒來人影少、孤螢照寂入簾櫳、

83 七夕遇雨

早秋風送冷、雨滴失佳期、月沒銀河暗、星藏玉露垂、樓樓牽旧恨、处处織新思、添淚無聊曉、料知苦別離、

84 新秋

万里長天一葉風、露濡花卉暮煙中、閑窓冷坐半醒夢、無限幽情何处愁、

85 秋夜作

秋天雲霧收、灑氣滿空浮、寂寂風生席、淒淒月上樓、砧声千里夢、笛韻万家愁、被冷獨眠覺、悄然燈影幽、

86 秋雨

蕭蕭涼夜永、風送雁賓秋、微雨炎威退、長空爽氣浮、締思孤枕上、破夢五更頭、愁客爭堪聽、伴蛩倚小樓、

87 十四夜有感

二七桂華鮮、風高扠暮煙、嬋娟輪未滿、皎潔鏡虧圓、素影思千里、清光共一天、月如與愁納(約)照恨半窓前、

88 中秋夜浮雲覆月

九宵雲鎖奈中秋、更妬嬋娟桂影幽、薄暮孤吟空寂寞、家家趨約懶登樓、夜深雲散月明也

高天雲霽月華浮、影冷嬋娟一半秋、深夜清光言不及、吟身忘睡五更頭、

90 十六夜

天晴金氣曉來寒、二八清光素影團、何事人心分一夜、吟情亦作等閑看、

91 雁

霧散窓明曉色分、茫茫天外寒鴻群、搏風雲路幾千里、嘹唳悲声月下聞、

92 九日遇雨

節去節來思異鄉、空含秋雨綻金英、何年斯日得相會、处处弟兄宜展情、

93 霜

雲塞(寒力)風冷一天霜、氣逼窓間碧瓦粧、万里縈思孤耿耿、閑庭明月欲侵牀

94 菊

紫白文開三兩枝、倦飛殘蝶遶東籬、悠然唯見坐(半)窓下、知得吟心陶令詩、

95 遊天龍寺見紅楓

山寺來臨夕日紅、粧成錦綉曉霜楓、楓林遠近示人处、此是天龍一措中、

96 初冬有感

攪林風凜烈、烈烈颭枯牆、黃菊和殘月、紅楓帶曉霜、蟲悲寒氣至、雁送怨声長、靜坐幽窓下、对燈意軀傷、

97 雪

剪風碎雪積來深、冷艷成花紫竹林、又怪飛飛玉胡蝶、一場春夢似相尋、

98 冬曉

天色蒼蒼向曉光、月前誤雪滿○霜北風入戶孤牀冷、倦枕吟終覺夜長、林地凍嚴風急、淒淒三四更、梅香發春意、窓竹作寒声、霜重砧無聽、窓虛月自生、閑吟依草榻、長嘯寸心傾、

99 冬夜書懷

- 100 冬曉
園林霜重風声冷、破壁氣寒孤月斜、獨對青燈眠不得、沈沈閒夜換歐茶、
- 101 訪人不遇
來過偶然問健安、清顏不見意猶酸、空依榻孤望厄久、怨（恐）是望霜歸路
- 寒、
- 102 水仙花
玉莖輕盈流水邊、桃前梅後獨粧娟、寒香寂寞無塵染、金盞清於捉月仙、
共了陽春伯仲梅、銀臺潔白玉英開、凌波仙子步微月、風骨冰心不染埃、
- 103 歲暮
帶雪南枝欲半開、梅香亦耐百花魁、忙中彈指年頻尽、燈下支頤夢幾面、我
恨慘然、殘藕去、人欣條忽早春來、擁爐坐觀古今事、不識誰人解此哀、
- 104 巳卯元旦
弘曙鷄鳴啓四貶、千門万戶極歡喜、暖催寒尽風光改、靜對梅花春意奇、
- 105 早春偶作
朦朧雲物淡、春色古今同、微暖梅花雨、嫩寒楊柳風、鶯飛林影動、蝶舞草
煙空、午夢添幽恨、半醒意不窮、
- 106 登雄山拜八幡宮
遠上雄山輿轉長、金門朱閣映春光、煙霞深处塵緣絕、風度梅花石徑香、
- 107 賀乳母宰相五十初度
二月春光見瑞祥、梅含喜色滿筵香、不將半百得遐筭、仙寿猶期千歲長、
- 108 春日偶成
浮雲漠漠覆長空、染柳翠煙微雨中、何處鶯声春寂寞、幽窓午夢喚無窮、
余寒未去鶯声懶、胡蝶○飛小苑中、孤枕孤窓春寂寂、半醒半睡兩朦朧、隨
- 風垂柳帶煙綠、鋪地落梅染露紅、閑試紫檀凭榻畔、郁乎乱縷絡簾櫳、漸
- 109 待花
東風剪剪些寒時、綽約芳葩恨較遲、閑倚闌于遊望久、惱人春色使誰知、
- 110 春日閑坐
濃雲淡日半晴陰、人靜尤知春色深、花綻園林精彩簾、為誰嬌厭露芳心、
- 111 春夜不寢
春夜無眠万感生、移床轉枕殘更、靜聽窗外風鈴語、閃閃燈光滅又明、
- 112 遊大井川船中偶成
松惹嵐光青黛山、飛声真下翠微間、勝遊斜日興何尽、船逐清流去更閒、
- 113 三月尽
碧天雲散日猶長、恋樹殘花断続香、九十春光此将尽、莫辞吟坐至昏黃、
懶見風光變小園、園林鶯喚惱吟蒐、誰知歲歲春歸处、試問殘花不解言、
- 114 初夏
隨風疎雨半晴陰、綠暗園林夏木深、景色清和未知暑、拾衣輕被愜閑吟、
- 115 夏夜書懷
迎夏未知暑、清涼万里天、隨風雲片片、帶雨草芊芊、終日伴飛燕、通宵聞
杜鵑、殘燈照幽恨、獨坐不遑眠、
- 116 杜鵑
千歲催歸花落時、淚痕林苑淋漓、曉風寄語懷孤客、月夕苦辛怨阿誰、
- 117 新秋
落尽紅粧蓮滿塘、西風吹老散殘香、新涼生枕竹窓暮、○雨如筭秋意長、○
- 118 暮
暮
秋雨

- 秋天漠漠暗雲浮、風透衣衾冷氣幽、閑滴芭蕉連夜雨、孤窓無處避悲愁、
- 119 中秋無月
- 雨妬良宵奈不晴、頑雲捲霧逐風橫、更闌呆坐孤窓下、空對幽燈無限情、
- 120 夢旧
- 幽窓燈火帶寒光、長憶故人不得忘、況是今宵一場夢、夢面枕上淚滂滂、
- 121 除夜
- 長空渺漠曉光催、燈燭半殘春欲來、蠟盡今宵恨難盡、豈思旧事一時面、
- 122 春日書懷
- 春天雲薄薄、窓靜翠簾垂、和淚月明夜、含情日暮時、墻陰飛粉蝶、林外黃鸝、堪羨舞風柳、眉開無所思、
- 123 拜槓尾山仙堂再興
- 棟梁煥彩玉堂新、女伴隨行幸結因、山色水聲人世外、西風颯颯抔埃塵、
- 124 新秋
- 金風長天爽、露花○以銀、秋光三伏盡、夜色一涼新、移榻伴明月、吟詩憶故人、不堪聽枕上、蟲語曉來頻、○清
- 125 秋夜
- 雨霽消殘暑、星河爽氣浮、淒風千里夢、明月一天秋、耿耿蟲穿壁、蕭蕭人倚樓、詩思伴燈火、吟到五更頭、
- 126 中秋
- 夜永金風冷、月明玉鏡磨、無雲懸宇宙、似雪照山河、小院蛩飛少、幽處蛩韻多、俄驚秋一半、不覺四時過、
- 127 高台寺丈室賞楓葉廣寂一之示韻
- 晴天露滴清風冷、佳景時移春復秋、靈鷲山頭尋古寺、臥龍橋上步高樓、經霜万葉臙脂艷、帶雨千林錦綉侔、禪話情濃僧室靜、忘歸已到月光浮、
- 128 雪
- 飛雪隨風白鶴輕、光梅破蠟隨瓊芳、皚然麗景催吟興、坐了寒窓無限情、
- 129 冬夜
- 雪粧碧瓦玉光生、閑聽鳴鷄報曉更、燈盡幽窓猶暗坐、與誰評得古今情、
- 130 辛巳早春
- 雪送旧年侵竹房、風光漸入我吟長、殘涯有友園林裡、無語南枝微笑香、
- 131 短量式篇賀松堂大和尚六十初度
- 天彰至德瑞雲浮、仙客迎來塵外遊、欣遇六旬初度日、法齡猶祝等越州、松風過韻入禪堂、此月適逢六十霜、万歲龜兮千歲鶴、共期壽域禔猶長、
- 132 中秋無月
- 冷透羅衣薄暮風、行雲行雨玉蟾空、莫愁浮世斷腸事、三五良宵閉月宮、
- 133 淀河舟中
- 青山疊疊入眸橫、碧浪浸空江上平、唯恨舟中吟不尽、每回風景有斯情、
- 134 遊清閑寺值雨
- 山寺蕭條帶雨行、眨聽函鳥兩三声、如今記得前朝事、坐愛楓林無限情、
- 135 遊天龍寺和文礼東堂韻
- 古寺蕭條河水濱、楓林錦綉不全貧、入窓景色何堪盡、終日吟遊勝似春、錦掛林頭古寺濱、說禪哦句自清貧、嵐山大井旧遊地、佳絕風光秋復春、
- 136 壬午歲旦
- 東風一点啓昌辰、帶雨園林景色新、庭上鶯花是先識、万方自此逢芳春、
- 137 春日偶成
- 春日午陰靜、小園緩步面、花唇紅色吐、柳眼翠光開、入夢輕風過、無声細

- 雨來、誰知孤榻下、對硯感情催、
- 138 暮春生感
- 微吹淡雲煙雨晴、園林寂寂燕鶯鳴、愁人淚共飛花落、誰識黃昏幾許情、
- 139 新樹
- 小園雨過晚風吹、夏木深深景物奇、何恨無端春色盡、嫩枝翠葉勝花時、
- 140 杜鵑
- 寄語催歸恨未平、不知錦里幾雲程、声声叫破殘更夢、斷尽何人深夜情、
- 141 十四夜遊於大井河舟中見月
- 長月万里暮雲收、短棹輕舟泝碧流、月照山河研桂影、不期明夜是中秋、
- 142 中秋
- 更闌夜靜作清吟、漠漠浮雲恨轉深、試問姐娥今夕月、為誰欲霽為誰陰、
- 143 閏八月十五夜
- 天意應知授此時、月華方滿不愆期、可憐处处逢今夕、再見中秋夜景奇、
- 144 對月有感
- 万里秋光凝遠眸、高天雲靜露華浮、如何月色娟娟夜、還使幽人起旧愁、
- 145 重陽
- 遍插茱萸是此貶、菊花解笑報佳期、料知他席他鄉客、歲歲年年处处思、
- 146 楓樹
- 為誰青女弄新紅、歲歲裁成錦綉楓、想見面文無限意、令人惆悵一林中、
- 147 冬日書懷
- 寒林蕭索帶風霜、幽竹窓前已夕陽、玩月秋宵猶恨短、尋花春日却勞長、
- 148 夜雨
- 枯過眼百年事、憂喜傷心一夢場、靜對爐香禪坐久、輕煙裊裊繞孤牀、
- 冷坐閑窓玉漏遲、蕭蕭夜雨動幽思、殘燈欲滅不托得、何處曉鐘驚夢時、
- 149 冬至遇雪
- 天根軀處向初陽、日應黃鐘添線長、仰看豐凶占一歲、乍先雲氣雪呈祥、
- 150 癸未元旦
- 四始三元曉、彩雲連彼蒼、不分憂與喜、自是入新陽、
- 151 早春書懷
- 艷艷微風靜、和鳴簾外鷓、曉光漸引睡、煙景只催詩、滿眼梅花色、牽思楊柳糸、陽春如有意、困懶語阿誰、
- 152 奉和 曼珠大王之韻
- 春滿小園花燦然、微風輕暖午晴天、寄來句句高難和、呆坐凝情孤榻前、
- 153 遊大井川
- 山水悠悠帶彩霞、孤舟面首夕陽斜、風光何處可相比、秋有楓兮春有花、
- 154 和月心西堂韻
- 城西數里入山房、遠繞龜峰河水長、堪賞筆花芳紙上、春林何止富風光、
- 155 過相国寺見蓮花
- 乘涼過古寺、白露報秋時、日照円通閣、風香功德池、卷舒好抽葉、直立不生枝、正看遠公意、蕭然刮步履、
- 156 中秋過江州石山寺登小樓賞月 此夕無月
- 湖光山色編凝眸、終日移情倚小樓、空欠家家詩酒興、寒宮誰鎖此中秋、
- 157 送 松堂大和尚赴对州 甲申歲
- 園林風払払、日日數行程、飛錫千山遠、掛帆一葉輕、暮雲牽別恨、煙浪帶離声、從此與誰語、瀟然絕世情、

- 158 七月十五夜唐崎浦見月
- 松下古祠臨水濱、雲連翠浪晚風頻、誰言夜雨唐崎浦、天霽月明興更新、
- 159 仲秋遇雨
- 四十五秋時序驚、林風吹送露珠頤、今宵不必覺晴色、思月蕭蕭雨亦清、
- 160 九月十三夜 無月
- 催寒夜雨送風聲、雲裡蟾光但有名、半閉孤窓靜相思、漠家不識此時情、
- 161 謹謝松堂大和尚寄書惠黃毛筆
- 尺素剝封閑誦時、三千里外豁胸思、且歛且謝兔毫贈、點墨龍蛇如共馳、
- 162 早春偶成 乙酉
- 韻光寒較滅、春景興厄奇、微雨洗梅蘂、輕風動柳枝、閑窓孤坐處、幽夢半醒時、此意向誰展、鳴鶯不可知、
- 163 見花有感
- 園裡白櫻爛漫披、清香郁郁好風吹、怪來終日對花處、更沒春光似昔時、
- 164 惜花
- 三月春花處處同、信知一刻興無窮、白櫻片片小園下、恨在飛花不在風、
- 165 重過嵐山
- 嵐山花落樹蒼蒼、啼鳥一聲春日長、心足不求濃艷色、只隨流水棹舟忙、
- 166 聽子規
- 雨晴雲片片、蜀魄入長空、懷旧啼明月、催歸叫曉風、遠心千里外、殘夢一聲中、猶語當時事、至今恨不窮、
- 167 賜白牡丹一枝謹題 花名三國
- 內家叢裏壇令名、雪魄蟾魂異世情、因懷沈香亭上事、古今不隔競思榮、
- 168 遊八瀨里
- 夏日重遊八瀨鄉、傍途流水洗詩腸、山中景色風塵外、寂寂都令世慮忘、
- 169 輪住瞎驢山松堂大和尚寄來玉詩一卷不堪吟賞綴拙詩一章呈文席請清覽之後高明更加潤色
- 一別東西二送秋、面頭屈指憶歸舟、寄來詩卷不吟盡、深夜榻前燈影幽、
- 170 中秋
- 三五天異、淒涼風露清、披雲千里景、吐月一年明、窓下背燈影、籬邊聽笛聲、悄然吟不尽、誰展此時情、
- 171 忻聞外拜無事、此節佳勝也否、隨時調養于盧中、則無遐境之隔、一夜桂華万里同色、遙想銀地賞遊、光映詩句影侵吟筵、某強搜枯腸謾作芻語、雖漸意多寫投榻下、改正是祈、
- 172 九月十三夜
- 緋雲收尽月明多、千里長雲片鷹過、遙憶他鄉三五夜、開窓對客有詩磨、
- 173 秋末十三夜月寒、西風蕭索漏聲闌、古今無間桂華影、只倚欄于獨自看、
- 174 過高台寺憶旧遊
- 幽徑蕭條古道場、飽霜楓樹錦雲張、倚柱尋思當時事、不為風光立夕陽、
- 174 再和前韻
- 是箇老師不記秋、大千世界一虛舟、道無南北依然在、預會元來轉處幽、
- 175 漫賦拙詩一章奉寄對州以酌庵松堂大和尚謝送梵園裡紅羅菓
- 遙思他鄉鄉思多、折來園裡施松蘿、可憐千里好風色、詩句不奇難奈何、
- 176 除夜
- 凜冽孤窓裡、寒炉自冷灰、欲春今夜隔、隨漏兩年催、往事皆無止、流光復速來、早梅如慰我、檐外笑唇開、
- 177 丙戌元旦

- 春使千家改、天教万物新、虛前經歲月、自笑一閑人、
 178 中秋 句句戲用月字
 月華方滿九秋中、患眼慵看月色空、是不春天似春月、雖逢明月月朦朧、
 179 雪夜偶成
 開窗雪月共淒清、宿鳥驚鳴三兩聲、想得今宵佳絕景、子猶訪戴始終情、
 180 丁亥元旦
 正始從三代、元分子丑寅、桑華皇運永、不隔太平春、
 181 遊江州臨江庵
 水色山光照眼新、園林花木吐丹唇、忘歸久望檐前景、為是春風抔世塵、
 182 一品大王法駕上雄峰予右京師遙相思
 遠上雄山一半秋、悠悠景色淀川舟、舟中遙想興無限、他日東歸記此遊、
 183 戊子晚春初八日權回祿寓居于東山大仏邊別墅歲月因循忽逢中秋漫賦
 一絕
 空万里轉金盤、岳色江声詩興闌、不料今宵秋一半、草廬靜処認心看、
 184 秋夜偶成
 長天浮爽氣、月色興無窮、群犬吠山徑、百蟲啼野風、悲秋秋夜永、感古古
 今同、自是孤窓下、凄然万慮空、
 185 過高台寺見紅葉有感
 山上青青松栢深、飽霜紅葉照園林、如何說得好風景、景色令人徒慘心、
 186 冬夜
 凜冽破窓裡、曉風透枕衾、浮雲遮落月、飛雪抔高林、万慮歡情少、寸心感
 事深、恨添寒夜永、何処遠聞碓、
 187 巳丑試筆
 首祚三元日、春光夷洛同、開窓山色好、哦句坐東風、
 188 中秋
 三五桂華穿密林、草蟲泣露夜更深、蕭蕭風覺有為夢、皎皎月澄塵外心、
 189 秋夜
 涼冷林中靜、風過物色晴、侵窓燈影淡、驚枕鼓声清、陰霧千方尽、層穹孤
 月明、万般唯寂寞、吟好此時情、
 190 重遊山科毘沙門堂
 重飛杖錫帝城東、滿目秋容興不窮、縱步林叢親採草、幽然坐石夕陽空、
 191 遊高台寺見紅葉
 步入山房望眼賒、驚峰楓樹襯烟霞、堪吟堪感古人語、霜葉紅於二月花、
 192 早春偶成 庚寅
 春山綠綠兼殘雪、流水潺潺帶斷冰、誰識閑庭黃鳥舌、一声喚起感情增、
 193 遊山科春日即事
 桜雪如雲引興長、東風吹我坐花牀、悠然終日更無語、望尽青山俗慮忘、
 194 中秋遇雨
 此地三年已別離、歸來今歲自遊嬉、不求晴色中秋景、思月情深夜雨時、
 195 辛卯元旦
 旧歲徒居趨旧房、新廬開戸納新陽、堪欣世事逐時改、景色催詩引興長、
 書簡
 1 寄僧
 日來塵冗疎于訊問、地蕭天凝、宜被保養之時也、今朝飛雪霏霏、瓊林玉樹
 忽得奇觀、料識山寺風光詩興添幾、拙也謾綴二篇、祇如妖鳥啼春耳、書以

呈之、冀加潤色、不宣、

2 又

今宵節至、群陰剥尽、雲物呈祥、日長添線、法体平安、可為祝規、一駿鳥
翳小菓以呈、是味之滋不能存焉、希賜割葺宜呂愉悅、

〔請求記号〕二〇三四―四二

謝辞

本稿を作成するにあたり、資料掲載のご許可を賜りました曇華院門跡・
狩野孝旻師に心より御礼申し上げます。

曇華集 終

明治廿一年四月京都曇華院蔵本ヲ写ス

注

(1) 曇華院は、現在、京都市右京区嵯峨北堀町に所在する臨濟宗天龍寺
派の尼門跡である。現在地に移ったのは明治初年で、もとは天授六（一三
八〇）年、智泉聖通が三条東洞院の高倉宮跡に創建した瑞雲院通玄寺であ
り、尼五山の一つとされた。

(2) 室町期から江戸期にかけての、曇華院の文芸享受の場としての役割
については、拙稿『なよ竹物語』享受の場に関する一考察―曇華院門跡
を手がかりに―（奈良女子大学日本アジア言語文化学会『叙説』第三九
号、二〇一二年三月）で考察した。

(3) 東京大学史料編纂所蔵謄写本の書誌を次に掲げる。

〔外題〕曇華集

〔内題〕中興通玄大成和尚曇華集

〔丁数〕三九丁（墨付三九丁、遊紙なし）

〔成立〕明治二一（一八八八）年